現任者向け

認定調査員研修

心身の状態を審査会に伝えよう

前編

間違えやすい項目
を確認しよう！

1　間違えやすい項目の確認

間違った記載例×

2-7　口腔清潔「2.一部介助」を選択

自分では歯磨きをしようとしないので、寝る前に家族が歯磨きをするように声掛けしている。

ポイント

洗面所への誘導、促しの声かけは含まない！　※特記のみとして記載

１　間違えやすい項目の確認

2-7口腔清潔 2-8洗顔 2-9整髪

【声かけ】【見守り】がなされている場合

どのような声かけや見守り等が行われているか介助の内容を記載する

⇒ 内容を詳しく記載すると審査会に伝わりやすい

1　間違えやすい項目の確認

2-7　声かけが行われている記載例

- 自分では歯磨きをしようとしないので、寝る前に**家族が歯磨きをするように声かけ**している。**うながしの声かけのみ**で、歯磨きの一連の行為は自分で行っている。**「1.介助されていない」を選択**する。
- 歯磨きの一連の行為は自分で行っている。**歯磨き中は家族がそばで見守り、磨き残しがないか声かけ**を行っている。**「2.一部介助」**を選択する。

１　間違えやすい項目の確認

間違った記載例×

4-3　感情が不安定「3.ある」を選択

家族の話では昔から涙もろく、昔の話をしていると、昔のことを思い出してすぐに泣いて不安定になる。

週に1回あり、「3.ある」を選択する。

ポイント

元々の性格や、元々感情の起伏が大きい等は該当しない！

１　間違えやすい項目の確認

4-3　感情が不安定

頻度

▶**不自然なほど持続**するか

▶場面や目的からみて**不適当な行動**か

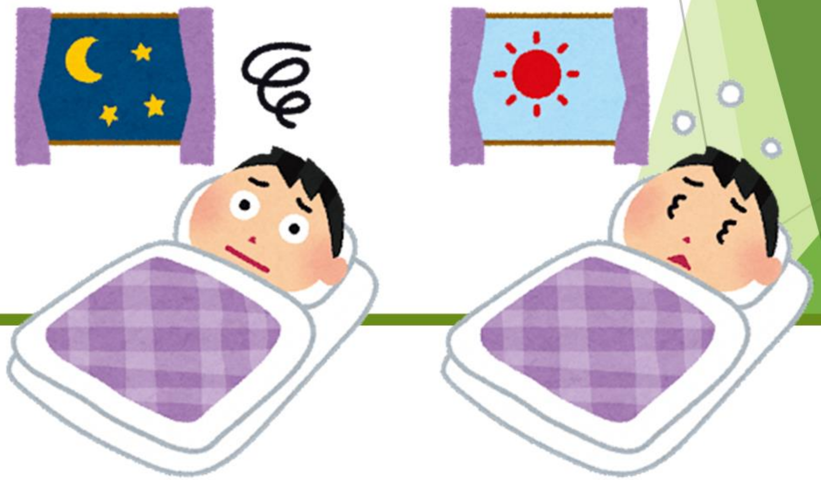
元々感情の起伏が
大きい等ではない

１　間違えやすい項目の確認

間違った記載例×

4-4　昼夜逆転　「3.ある」を選択

気になることがあると夜中ずっと考えてしまい、眠れないことが週に１回あり、「3.ある」を選択する。



ポイント

日中・夜間
両方の状況を記載しよう！

１　間違えやすい項目の確認

4-4　昼夜逆転

頻度

▶夜に目覚め、日中に活動できない

▶通常、日中行われている行為を夜間行っている

⇒**日中・夜間両方の状況**や**介護者の対応**を詳しく記載すると審査会に伝わりやすい

１　間違えやすい項目の確認

間違った記載例×

4-8　落ち着きなし「3.ある」を選択

施設に入居中。施設内をうろうろして
落ち着かなくなることが週に1～2回あり、
「3.ある」を選択する。

ポイント

①「家に帰りたい」意思表示
②落ち着きがない状態

⇒①②両方がある場合のみ該当

1　間違えやすい項目の確認

頻度

4-8　落ち着きなし　記載例

自宅で家族と同居しているが、**毎日「家に帰る」と言い出し**、**家の中をうろうろして落ち着きがなくなる**ため「3.ある」を選択。普段はそのうち落ち着くため特に手間とならないが、**月に2～３回興奮して暴れる時があり、家族がなだめる対応**をとっており手間がかかっている。

⇒①「家に帰りたい」意思表示
②落ち着きがない状態
⇒両方ある場合のみ該当

※**介護者の対応**を詳しく記載すると、
より審査会に伝わりやすい

２【介助の方法】記載の注意点

わかりづらい記載例×

5-1　薬の内服

「家族が薬を**管理**して、自分で内服している。」

選択肢①にも②にも読み取れる

たとえば・・・

家族が薬を冷蔵庫に保管している。服薬時は自分で取り出し、内服している。⇒①？

服薬時、家族が薬を手元に用意し、自分で内服している。⇒②？

２【介助の方法】記載の注意点

5-1　薬の内服　一連の行為

一連の行為

- 薬や水を手元に用意する
- 薬を口に入れる
- 飲み込む（水を飲む）

（上の2項目）これらすべて介助なら③全介助

テキストP.132

一連の動作の中で、

どのような行為を自分で行い、

どのような行為は介助されているのか、

具体的に記載しましょう！